

2024年6月2日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第10号(通算3392号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に**する**教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に**する**神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅうじつれいはい
聖霊降臨節 第3主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう ちよさくけんしょうめつ
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば ふくいんしょ しょう せつ
招きの詞 ヨハネによる福音書 3章 16-17節

さんびか ばん まね ことば せつ
賛美歌 21-448番「お招きに応えました」(©JASRAC)

せいしょ しんと てがみ しょう せつ
聖書 ローマの信徒への手紙 10章 5-18節

いの お祈り
さんびか ばん なに も せつ
賛美歌 21-453番「何ひとつ持たないで」(©JASRAC)

メッセージ 「信頼を身をもって示す」 牛田 匡 牧師

さんびか ばん ひと せつ
賛美歌 21-405番「すべての人に」(©JASRAC)

ユーカリスト せいじふ しょう せつ
聖餐 牛田 匡 牧師

きょうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんびか ばん な ちよさくけんしょうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅの祈り

ささげもの
献げ物(*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく しょう せつ
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん せつ
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく ばん せつ
報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{まね} ^{ことば} ヨハネによる福音書 3章16-17節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹⁶神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子^{みこ}を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。¹⁷神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

聖書 ローマの信徒への手紙 10章5-18節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁵モーセは、律法による義について、「律法の掟を行う者は、その掟によって生きる」(レビ18:5)と書いています。⁶しかし、信仰による義については、こう述べられています。「心の中で、『誰が天に上るだろうか』と言ってはならない」(申命記30:12)。それは、キリストを引き降ろすことです。⁷また、「『誰が、底なしの淵^{ふち}に下るだろうか』と言ってはならない」(申命記30:13)。それは、キリストを死者の中から引き上げることです。⁸では、何と言っているのでしょうか。

「言葉はあなたのすぐ近くにあり

あなたの口に、あなたの心にある」(申命記30:14)

これは、私たちが宣べ伝えている信仰の言葉です。⁹口でイエスは主であると告白し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。¹⁰実に、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるのです。¹¹聖書には、「主を信じる者は、誰も 恥を受けることがない」(イザヤ28:16)と書いてあります。¹²ユダヤ人とギリシア人の区別はありません。同じ主が、すべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人を豊かにお恵みになるからです。¹³「主の名を呼び求める者は皆、救われる」(ヨエル3:5)のです。

¹⁴それでは、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がいなくて、どうして聞くことができるでしょう。¹⁵遣わされないで、どうして宣べ伝えることができるでしょう。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える者の足は」(イザヤ52:7)と書いてあるとおりです。¹⁶しかし、すべての人が福音に従ったわけではありません。イザヤは、「主よ、誰が私たちの知らせを信じましたか」(イザヤ53:1)と言っています。¹⁷それゆえ、信仰は聞くことから、聞くことはキリストの言葉によって起こるのです。¹⁸それでは、尋ねよう。彼らは聞かなかったのだろうか。もちろん聞いたのです。

「その声は全地に

その言葉は世界の果てにまで及んだ」(詩編19:5)

のです。

(脚注 a : 別訳「失望することがない」)

《先週のメッセージより》5月26日 三位一体主日礼拝メッセージ

「手を離さないで」より

水谷憲牧師

聖書 詩編 37編 23-40節

私たちの人生は、予測不可能。まっすぐ進むつもりが横へそれたり、全く違う方向へ進んだと思っていたが、振り返れば、おおむね自分の目指していた方向へ向かっていたとか。無難に見える道でも、必ず何らかの山だって谷だってある。今日の詩編によると、神は人の一步一步を定め、御旨にかなう道を私たちに備えているという。私たちが出口の見えない試練の中にあっても、神は私たちと必ず共にあるというのだ。「人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていて下さる。若いときにも老いた今も、私は見ていない。主に従う人が捨てられ、子孫がパンを乞うのを(24-25)」。この詩編の歌手は、神により頼む人が倒れたまま放っておかれ、またその子孫までもが苦しむ様子を見たことがないと言っている。つまり、私たちの苦しみも、私たちがただ神により頼み、イエスを私たちの救い主として信じているなら、決してそのままに捨ててはおかれない。きっと救い上げられるということだ。だから、主に望みを置き、主の道を守れ、無垢であろうと努め、まっすぐに見ようとせよ、と歌手はうたう。主に従い、主の道を守っていても、苦しみ悩み・不幸は起こる。しかし、苦しくて叫びたくなるような試練の中でも、神は復活のイエスと共に、必ず私たちを助けて下さる。神は、心を尽くしてすぎる者を決して見捨てたりはされないのだから。

「子育て四訓」というものがある。「乳児はしっかり肌を離すな、幼児は肌を離して手を離すな、少年は手を離して目を離すな、青年は目を離して心を離すな」。神は、自分の大事な子であるキリストを身代わりとして犠牲にするほどに、大切に思ってくれているのだ。こんなしょーもない私たちのことを。人間の親には、よい親も悪い親もいろいろだが、だからこそ私たちは、私たちの創り主、親である神の愛情を信じてゆきたい。人間の親はどうあれ、神だけはいつも私たちのことをぎゅっと包んでくれている。神だけは、私たちの手をしっかりと、離すことなく握ってくれている。神だけは、私たちから目を離さず、いつも見守ってくれている。神だけは、いつも私たちと心を共にしてくれているのだと。三位一体の神が、私たちを様々な試練から救い上げてくれることを強く信じるとともに、私たちも「私の手を離さないで、私もあなたの衣を握って離さないようにします」と祈りたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 5月26日 三位一体主日礼拝

礼拝出席 大人6名 献金 大人6,000円 中継視聴者数24回 感謝

◎次週 2024年6月9日(日) 聖霊降臨節第4主日礼拝

招きの詞 詩編 16編 7節

聖書 ヨハネによる福音書 3章 36節

メッセージ「信じる人になりたい」水谷憲牧師

賛美歌 21-448 (©JASRAC)、21-360 (©P.D.)、21-413 (©JASRAC)



◎お知らせ

- これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- 本日の礼拝後に、6月期の「教会を考える会」を行う予定です。
- 和歌山県かつらぎ町にある大浦農園にて、玉ねぎの収穫のお手伝いをする「縁農」は、昨日6月1日(土)に予定しておりましたが、諸般の事情から次週6月8日(土)に延期になりました。どなたでもご参加ください。詳細は牛田牧師までお問い合わせください。
- 本日6月2日(日)17時~19時に、お隣の八尾教会にて、大阪教区「教会と天皇制」を考える特別委員会主催の連続講座(第1回)が開催されます。発題は八尾教会の池田優希牧師による「わたしとてんのうせい」です。参加費無料、申込不要です。どなたでもご参加下さい。
- 6月7日(金)18時半~20時半に、在日大韓基督教教会館(地下鉄「今里駅」から徒歩10分)にて、「難民移民キリスト者フォーラム2024」が開催されます。会場での対面参加の他、オンライン参加も可能です。参加費は無料ですが、前日までに申し込みが必要です。詳細は「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」のウェブサイトをご参照下さい。また参加申し込みは、右のQRコードより6月6日(金)までにお申込みください。

「教会と天皇制」を考える特別委員会
連続講座

第1回「わたしとてんのうせい」

発題者: 池田優希さん(八尾教会 牧師)

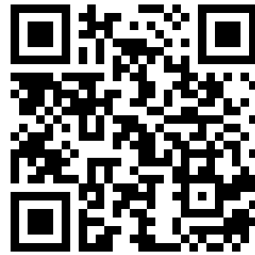
わたしは、これまで天皇制というものをあまり意識せずに過ごしてきました。そんなわたしが、「教会と天皇制」を考える特別委員会の委員になり、委員会での話し合いや2.11集会での講演もあって、これまで自分が女性として、母親として生きるなかで感じてきたキヤキヤの背景に天皇制の問題があることに気づきました。「わたし」が「天皇制」について考えたことを発題のなかでみなさんと分かち合いたいと思います。この分かち合いから、「教会と天皇制」を考える輪が広がっていきますように。

日時: 2024年6月2日(日)
17:00-19:00

会場: 日本キリスト教団 八尾教会
〒581-0074 大阪府八尾市栄町4-5-8

参加方法: Zoomにて発題を配信いたします。参加される方は、「教会と天皇制」を考える特別委員会の山下社起委員長までメールにてお申し込みください。
アドレス: abeno1921@sirius.ocn.ne.jp
なお、池田優希さんは八尾教会にて発題されますので、八尾教会にお越しいただくことも可能です。

主催: 聖霊降臨節「教会と天皇制」を考える特別委員会



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/9	水谷憲牧師	(教会創立記念礼拝)花の日こどもの日
6/16	牛田匡牧師	
6/23	水谷憲牧師	おにぎり支援
6/30	牛田匡牧師	誕生者祝福式

●難民・移民キリスト者フォーラム2024●

難民申請者・仮放免者を国外追放しようとする「2023年改悪」入管難民法の
実施に**反対**します!

対面とオンラインによるフォーラム

参加無料
事前申込

日時: 2024年6月7日(金) 午後6時30分~8時30分

会場: 在日韓国基督教教会館 (KCC)
(大阪市生野区中川西2-6-10/地下鉄「今里駅」から徒歩10分)

参加申込: <https://forms.gle/ZqvC9fPfcUu4GsT9A>
*対面・オンラインともに、前日までにお申し込みください。

政府は、昨年国会で成立した「改悪」入管難民法の実施を「6月上旬」としています。さらに、「技能実習制度廃止・技能移転促進法案」と合わせて、「永住取り消し法案」、「在留カード・特別永住者証明書とマイナンバーカード一括廃止案」が国会に提出されました。これら3法案は、在日外国人に対する在留管理をさらに強化しようとするものです。

私たちは昨年6月、「入管難民法の改悪に反対し、難民・移民と共に生きる教会共同声明」を出し、126の教会・団体が賛同しました。その共同の意思を基点として「難民・移民なごまのいのちの基金」を立ち上げ、現在までに807万円の献金が全国の教会・キリスト者から寄せられました。その献金により、難民申請者・仮放免者ら269人を支援することができました。しかし私たちの支援は、まだ大勢の一人に過ぎません。

国会で審議が始まる3法案に対する反対運動、2023年改悪の実施、そのなかの6月8~9日には、大阪市生野区で「難民者と難民申請者ネットワーク」のフォーラムが開催されます。その目的、私たちは全国の教会とキリスト者たちと結びかけて、対面とオンラインによる「難民・移民キリスト者フォーラム2024」を開催し、全国の仲間たちの声を寄せ合いたいと考えています。

●難民情報 ●報告と証言 ●かみで対話

①11月国会で
在留カード・特別永住者証明書
とマイナンバーカード
を一括廃止
②2023年改悪の施行
③難民申請者・仮放免者支援委員会

①中央/大阪府大田区
社会福祉センター シラヒバ
②近畿大学
③アットワンツウ
④キリスト教団他
⑤難民・移民支援基金
田村美津子さん/内田聖子さん
(基金運営チーム)

かみは髪を伸ばしているが、
髪は15分を要します。

●アットワンツウ・祈り会

アットワンツウは、6月8日(金)午後6時30分~8時30分、特別永住者証明書の返却に賛同します。(難民申請者の返却に賛同しません。ご参加は任意です)

外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外信連)
難民・移民支援基金(難民・移民なごまのいのちの基金)
外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会(関西外信連)
マイノリティ・宣教センター(CHM)

連絡先
外信連事務局
電話: 03-3333-7575
メール: info@gaikokyo.jp
www.gaikokyo.jp